

右申立人に対する公職選挙法違反被告事件（昭和四一年（あ）第一八六三号）について、昭和四三年四月三日当裁判所の言い渡した上告棄却の判決に対し、弁護士石橋信から別紙のとおり判決訂正の申立があつたが、右判決の内容に誤のあることを発見しないので、刑訴法四一七条一項により、裁判官全員一致の意見で次のとおり決定する。

主 文

本件申立を棄却する。

昭和四三年五月一日

最高裁判所大法廷

| | | | | |
|--------|---|---|---|----|
| 裁判長裁判官 | 横 | 田 | 正 | 俊 |
| 裁判官 | 入 | 江 | 俊 | 郎 |
| 裁判官 | 奥 | 野 | 健 | 一 |
| 裁判官 | 草 | 鹿 | 浅 | 之介 |
| 裁判官 | 城 | 戸 | 芳 | 彦 |
| 裁判官 | 石 | 田 | 和 | 外 |
| 裁判官 | 田 | 中 | 二 | 郎 |
| 裁判官 | 松 | 田 | 二 | 郎 |
| 裁判官 | 岩 | 田 | | 誠 |
| 裁判官 | 下 | 村 | 三 | 郎 |
| 裁判官 | 色 | 川 | 幸 | 太郎 |
| 裁判官 | 大 | 隅 | 健 | 一郎 |
| 裁判官 | 松 | 本 | 正 | 雄 |
| 裁判官 | 飯 | 村 | 義 | 美 |